

に登り姥滝沢を横切って微温湯への登山道に出る。

(記・一)

[タイム]

微温湯八・三〇―姥滝沢九・〇〇―中の沢出合九・一

〇―終了一一・〇〇

姥滝沢

一九七五年五月二十九日

◆天気(晴)

福島を六時三〇分のバスでたつ。高湯七時一〇分到着。

高湯から自動車道路をゴルフ場まで歩き、ここから微温湯のコースに入る。

道路のわきに指導標があるのでここから入り建物の右を通り又ゴルフ場に出る。ここで次の指導標をさがせば登山道に入ることが出来る。急坂を二〇分ほど下ると不動沢に出合う。

この水は酸味が強くて飲めない。小さな登り、下りを歩くと三〇分ほどで須川に下る急坂となる。

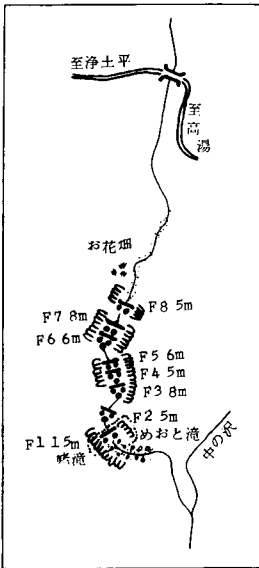
須川八時一〇分。ワラジをつけ、沢登りの準備をする。

登りはじめると小さな滝があつて楽しい。七段の滝の右岸を捲き調子良く進む。

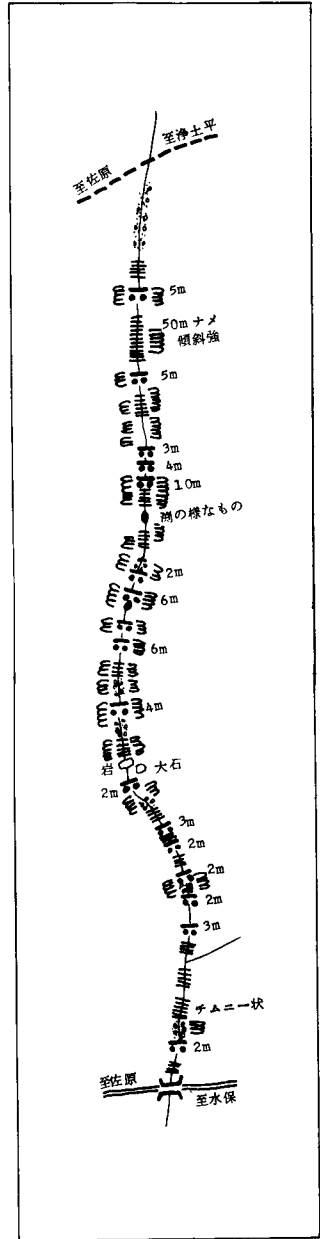
途中左の方から小さな沢が入っている。中の沢出合の少し前にきれいなナメと滝がある。走りだしたくなるよ
うだ。

一〇時二〇分姥滝沢と中の沢の出合。水量は姥滝沢が二、中の沢が三で中の沢の方が多い。左の姥滝沢に入る。途中姥滝一五段二段があり、右岸ガレ場を捲く(左岸に整備された捲き道のあることが後でわかった)。捲きが終わるとめおと滝に出会う。滝が二条になっているところからその名がついたのだろう。

これから先いくつも滝があり雪渓が出てくる。その先の滝をシャワークライムで突破すると又雪渓となる。小



姥滝沢 (作図:)



白津川 (作図: 〆)

滝を越えるとほぼ平坦地となり、岩にペンキで「沢終了」とかかれている。

浄土平へ向かうが車道に出るまでだいぶ距離があり、途中昼寝をする。浄土平一三時到着。

(記: 〆)

(タイム)

- 高湯七:二〇—須川八:一〇—姥滝沢・中の沢出合二
- 〇:二〇—めおと滝二:三〇—浄土平一三:一〇

白津川

一九七九年七月八日

◆天気(晴)

佐原から吾妻パイロット事業用の林道を車で登り白津川出合の橋まで行く。水が流れていないので多少不安となり、地図を見て、この沢が白津川であることを確認し、身仕度を整え遡行開始。

二分くらい登ると一〇分ぐらいのナメ出現。又すこしくくと二〇分ぐらいのチムニー状のナメ、その先にはさらに五層のナメと続く。地図を見て何もなくて平凡な沢な